

宮城県気仙沼高等学校〔全日制課程（普通科）〕

☆ スクール・ミッション（社会的役割等）

宮城県気仙沼高等学校全日制課程は、「究理創造，和親協同，至誠励業」を校訓とし、「文武両道」の精神を尊重し，健全な心身と地域愛・国際的視野をもって，新しい時代に対応できる学力と創造的能力を発揮し，志の実現に向けて積極的に行動できる自立した生徒を育成します。教科の協働型学習，課題研究活動，志教育に力を入れ，予測困難な時代にあっても，社会を豊かにたくましく生きる基礎力として「グローバル・リテラシー」を養う学校を目指します。

★ スクール・ポリシー（三つの方針）

1 グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）

地域の自然や文化を尊び，地域への愛着をもって世界に直接アクセスし，対話によって合意を形成し行動できるグローバルリーダーの育成を目指すため，以下の資質・能力を有する人材を育成します。

- 地域が抱える課題を理解し，グローバルに思考するため，課題を「つきつめる」科学的・批判的・総合的思考力を育成します。
- 世界の人々を「つなげる」多様性を理解し，協調性を有する人材を育成します。
- 持続可能な社会の実現のため，基礎・基本的な知識・技能を粘り強く，主体的に「つみあげる」人材を育成します。
- グローバルリーダーとして不可欠な，「つたえる」コミュニケーション力や語学力を育成します。
- 震災の経験を活かして社会に貢献し，豊かな未来を創造する「つきぬける」行動力や未来思考力を育成します。

2 カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

- 2年次より2類型を設定します。
→1年次は，共通科目で基礎力重視の授業を展開します。2年次からは「創造人文類型」「創造理数類型」にわかれ，自ら考える力を養う課題探究型の授業を展開していきます。
- 学校設定科目「地域社会研究」「課題研究」で科学的探究活動の習熟を目指します。
→地域あるいは世界に共通するグローバルな課題を理解し，科学的な手法を用いながら「グローバル・リテラシー」を育成します。
- 震災・防災学習，地方創生につながる学びを展開します。
→大震災の経験を素材とする学びを，各教科・生徒会活動・委員会活動などにおいて教科等横断的に展開し，グローバルな観点から未来を創造し，その実現に向けて協働的に行動するスケールの大きな復興の担い手を育成します。
- 多様な進路希望への対応と難関大学への進路実現を目指します。
→選択科目と学校設定科目を設置し，目標に至るまでの過程（模試や課外講習など）で確実に成果を出せるようなカリキュラムを編成するとともに，生徒の進路志望を実現するための質の高い授業を行います。

3 アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

- 自己の志の実現に向けて，学び続ける強い意思をもち，次に当てはまる生徒を求めます。
- 本校で学ぼうとする理由が明確で，大学進学など将来への目的意識をもち，自らの可能性に挑戦する生徒
 - 本校での学習活動に適應できる学力を有し，継続的に学習に取り組む強い意思のある生徒
 - 地域社会を理解し，グローバルな視点で未来社会を考えようとする生徒
 - 次の（1），（2）のいずれかに当てはまる生徒
 - （1）体育的活動，文化的活動，社会的活動等で顕著な実績を収めた生徒
 - （2）中学校の学習やその他の活動において，集団の核となって活動した生徒